

海外派遣研究助成事業による研究の成果

研究者氏名	鈴木 祐輔
所属機関	九州大学大学院医学系学府 医学専攻 病態制御内科学
<ul style="list-style-type: none"> ・研究に従事した外国の研究機関名 ・参加した国際学会・会議名 	米国消化器病週間 2023 (Digestive Disease Week 2023)
渡航期間	自 2023年5月4日 至 2023年5月11日
<ul style="list-style-type: none"> ・研究内容 ・国際学会・会議内容 	表題 : Traction-assisted endoscopic ultrasound-guided fine-needle biopsy using the clip-with-thread method for small gastric subepithelial lesions: a Randomized Control Trial セッション名 : Topic Forum (ASGE EUS-Guided Interventions: Outcomes and Innovations)
<p>研究成果 (要約 : 800 字)</p> <p>私は、2023年5月6日～5月9日にアメリカ シカゴで開催された Digestive Disease Week 2023 に参加し、下記研究成果について Topic Forum (ASGE EUS-Guided Interventions: Outcomes and Innovations) で口頭発表を行いました。</p> <p>胃粘膜下腫瘍の診断に対して EUS-FNB はゴールドスタンダードであり、世界中で広く施行されていますが、20mm 未満の胃粘膜下腫瘍に対する EUS-FNB は呼吸性変動の影響の大きさや腫瘍の可動性のために十分な組織量を採取することがしばしば困難です。我々は糸付きクリップを用いたトラクション補助下 EUS-FNB を開発し、ランダム化非盲検前向き比較試験を行うことで、従来の EUS-FNB と比較してトラクション補助下 EUS-FNB が有用か検討しました。20mm 以下の胃粘膜下腫瘍 30 症例が Crossover ランダム化非盲検前向き比較試験に参加し、診断精度 (86.7% vs. 63.3%, $p=0.037$)、適正検体採取率 (90% vs. 66.7%, $p=0.028$) においてトラクション補助下 EUS-FNB が従来の EUS-FNB より優位に優れていることが示されました。</p> <p>今回の研究で行ったトラクション補助下 EUS-FNB は、ESD で使用されるトラクション技術を EUS-FNB に応用した新規の技術で、本研究によりトラクション補助下 EUS-FNB は従来の EUS-FNB に対して診断精度の高い検査方法であることが明らかになりました。トラクション方法は簡便であることから、胃粘膜下腫瘍の診断率向上に寄与すると考えております。</p> <p>本学会は世界各国から消化器領域を専門とする内科医・外科医が参加する最も規模の大きな消化器関連の学会で、最先端の研究が数多く報告されておりました。また EUS-FNB 技術の進歩は目覚ましく、EUS-FNB 技術を用いた腫瘍の診断・治療に関しての報告が盛んに行われておりました。小さい粘膜下病変に対する内視鏡的治療も世界的に進んできていることが確認され、同時にそのような病変の術前診断をどのようにするのか議論があり、我々もトラクション方法や、EUS-FNB にトラクションを用いるという発想に大きな反響をいただきました。</p>	